

【設立趣旨】

立地

古市地区は西側に白髪岳・松尾山を望み、ほぼ南北に長くつながり、古くから交通の要衝となっていました。明治 32 年には阪鶴鉄道が開通し、現在では複線電化され、地区内に 3 つの駅を有する市内でも公共交通が至便な地域であります。また古来、「但馬街道」と言われる国道 176 号線が縦断し、372 号線、舞鶴自動車道も通る立地条件のきわめて優位なところです。伝承される文化や歴史も多く、義経伝説や忠臣蔵にも関わりのある地域でもあります。また古市小学校は戦前までは郡内に数校しかない尋常高等科が設置されており、他郡からの入学者も多く、南矢代分校や現産業高校丹南分校を含めて、教育に熱心な地域でした。京阪神へは 1 時間という通勤圏にあり、それはまた逆に京阪神からの至近距離にある「隠れた楽園」であるかも知れません。

現在の状況

「スポーツ 21」が設立され、従来の体育活動もより活発に展開されています。念願であったコミュニティセンターでは多くの文化活動が行われ、近年では「古市塾」も毎月開催され 3 年をむかえています。また、防犯活動の一環として、小学生の登下校時の見守り活動も地区内に広がり、「子どもは地域の宝である」ということの認識も広がってきました。

地区内では、コミュニティセンターのほかに、牛ヶ瀬隣保館を拠点に、あるいは玉津研修センターを拠点に、それぞれの活動が展開されています。一方それぞれの集落では、白髪岳登山者との地域ぐるみでの交流や、「旬の市」を通しての人と人との交流が深まり、伝統行事の「古市義士祭」は通算 65 回目となりましたし、「古市一夜夢街道」という軒先ギャラリーも開催されるようになってきました。そうして、「継続は力なり」ということが、あちこちで実証されようとしています。

地域の課題

数えればきりのないほどそれぞれの小さな単位で展開されているのですが、その反面、他の集落での様子がわからなかったり、地域内の貴重な伝統や歴史、あるいは農業・観光資源が知られていない一面があることも否定出来ません。

少子高齢化は如実にヒタヒタと押し寄せ、保育所の廃止も現実になってしまいましたし、小学校の統廃合の噂も、事実無根ではあっても「怖れ」として内在しています。農業後継者不足も現実のものとなりつつあり、山林の保全もままならぬ状況にあります。

私たちが、安心して、この地に暮らしていて良かったと感じられるのは、どういう暮らし方を模索すれば良いのかを、今真剣に考えねばならない時がやって来ました。「参画と協働」ということは、言い換えれば「人は一人では生きて行けない」ということかも知れません。

新しい視点に立って、内在する多くの農・工・商・観・立地の資源を活用し、古市地区の一人一人が、「この地に暮らして居て良かった」と思える郷土づくりを目指して模索し試行していきながら、互いの連携を密にしていけることを念じて「古市地区まちづくり協議会」を設立いたします。

【設立の経緯】

平成 18 年度市政執行方針として[交流都市篠山]ひと輝き・まち元気・未来へつなげるまちづくりを基本理念として、市内 19 の小学校区で「まちづくり協議会」を結成することとなり、現在までに大芋・大山・西紀北・雲部・日置・福住・城南の 7 校区で結成されており、その内大芋・大山・西紀北の 3 校区が『県民交流広場事業』を実施しております。当地区では「まちづくり協議会」の結成に先行して、安全・安心なまちづくりを推進する為に、平成 18 年 10 月 29 日に「古市校区まちづくり防犯グループ」を結成し、その後各集落で防犯グループを組織して小学校児童の登下校時に見守りの活動を行っております。

そうして、今般下記経緯により協議会の設立総会を開催する運びとなりました。

設立準備進捗状況

開催日	会議内容	参加者
平成 19 年 7 月 20 日	協議会設立説明会	自治会長・各種団体代表者・行政
平成 19 年 8 月 2 日	構成部会説明会	コミセン地域交流部会・管理主事 古市商工振興会・自治会(副会長)
平成 19 年 8 月 3 日	構成部会説明会	人権のまちづくり推進委員・市同教丹 南支部理事・男女共同参画推進員
平成 19 年 8 月 6 日	構成部会説明会	農会長・農政協力委員・地区農地水環 境保全向上活動の会
平成 19 年 8 月 7 日	構成部会説明会	コミセン事業運営部会・管理主事 地区女性会(婦人会・中年婦人会他)
平成 19 年 8 月 8 日	構成部会説明会	老人会・体育委員・スポーツ 21 ふる いち・丹南体育振興会古市支部長
平成 19 年 8 月 9 日	構成部会説明会	衛生委員・PTA 地区委員・子ども会世 話役
平成 19 年 8 月 10 日	構成部会説明会	地区防犯グループ・消防団・コミセン 防災部会・青少年健全育成推進協議員
平成 19 年 8 月 17 日	構成部会説明会	愛育班・民生児童委員・福祉委員 更生保護女性会
平成 19 年 8 月 29 日	横山宜致講師による 推進会議	自治会長・協議会予定役員・各種団体 会員・市まちづくりサポーター
平成 19 年 9 月 28 日	横山講師によるワー クショップ	自治会長・協議会予定役員・各種団体 会員・市まちづくりサポーター
平成 19 年 10 月 26 日	横山講師によるワー クショップ	自治会長・協議会予定役員・各種団体 会員・市まちづくりサポーター
平成 19 年 11 月 16 日	横山講師によるワー クショップ	自治会長・協議会予定役員・各種団体 会員・市まちづくりサポーター
平成 19 年 12 月 12 日	横山講師によるワー クショップ	自治会長・協議会予定役員・各種団体 会員・市まちづくりサポーター
平成 20 年 2 月 5 日	設立準備会議	協議会予定役員・自治会長

【役員構成】

役 職	氏 名	備 考
会 長	山 口 貢 二	自治会長会 会 長(波賀野新田自治会長)
副会長	北 山 成 明	自治会長会 副会長(住山自治会長)
副会長	数 元 則 彦	古市幼・小 PTA 会長
監 事	中 西 肇	元篠山市収入役
監 事	上 田 昌 幸	犬飼自治会長
会 計	森 口 直 孝	古森自治会副会長
事務局長	山 口 貢 二	兼任
部会長	酒 井 孝 己	古市校区防犯グループ会長(油井自治会長)
部会長	狩 場 修	見内前自治会長
部会長	酒 井 進	初田自治会長
部会長	宮 本 武 治	コミセン管理主事
部会長	酒 井 勝 彦	自治会長会 副会長(古市自治会長)
顧 問	市 嶋 弘 昭	市議会議員(古市)

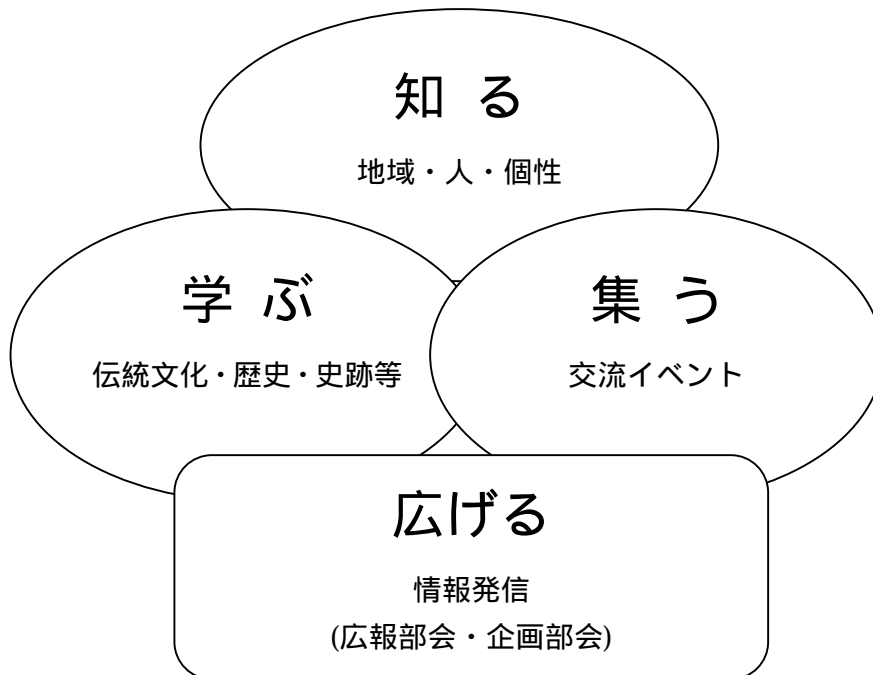
【部会構成】

構成部会	事業推進の中心となる団体・個人
企画部会	農会長・農政協力委員・古市商工振興会・ スポーツ21ふるいち・コミセン運営委員会・自治会役員・ 推薦公募サポーター
コミュニティ部会	コミセン(地域交流部会)・コミセン(事業運営部会)・ コミセン管理主事・自治会役員・推薦公募サポーター
生活環境部会	古市校区まちづくり防犯グループ・消防団・衛生委員 コミセン(防災部会)・PTA 地区委員・子ども会世話役・ 農地水環境保全向上活動の会・推薦公募サポーター・ 青少年健全育成推進協議会委員・自治会役員
健康福祉部会	老人会・丹南体育振興会古市支部・体育委員・ コミセン管理主事・愛育班・民生児童委員・福祉委員・ 更生保護女性会・地区女性会・自治会役員・ 人権のまちづくり推進員・男女共同参画推進員・ 市同教丹南支部理事・推薦公募サポーター
広報部会	自治会長・自治会長経験者・コミセン事務局・ 推薦公募サポーター

【事業計画】

協議会設置の目的を達成するために、当面の目標として次の活動を中心に行動する。

地域を「知り」「語り合う」ことから始めようをテーマとして



知る 役員が各集落の自治会役員等の協力を得て訪問・散策し、地域を知り、イベント等に参加して15集落の魅力を実際に体感を通して理解し合い、新たな取組みを検討していく。

学ぶ 古市塾による伝統文化・歴史・史跡等を学ぶ。

集う 文化活動発表会・ハイキング等三世代が交流できるイベントの開催。

広げる 会報・情報冊子等によるPRや若者の参加・女性の企画参画を進める。

1. 基本方針として三世代の交流、若者の参加、女性の企画参画を目指して、4つの行動指針(地域を知る、 ストックを活かす、 たまりの場で語り合う、 みんなの声で情報発信)によりまちづくりを展開していく。
2. 下記に掲げる部会毎に具体的事業計画を立案し県民交流広場事業実施計画書の策定を行う。
3. 県民交流広場事業への申請(平成20年6月予定)。
4. 丹波篠山築城400年祭及びデカンショ街道が日本風景街道に登録されたことによる事業立案実施。
5. 部会毎に委員会を設置し、県民交流広場事業を有効に活用しながら、以下に掲げる事業を展開していく。

企画部会

景観づくり、JR3駅を利用した活性化事業・イベント企画・地元農産物の販売工夫・ブランド商品・加工食品の開発販売。

コミュニティ部会

コミセンを中心に牛ヶ瀬隣保館・玉津研修センターとの連携を強化し、地元住民の利用促進を図る。

文化活動発表会・古市塾・住民学習・各種サークル活動等、各々の主体性や要望に基づく一層の推進を支援。

生活環境部会

古市校区防犯グループを中心に安全・安心なまちづくりの推進。

クリーン作戦による各集落や該当集落による河川・水路等の清掃作業や桜並木の整備等の推進支援。

健康・福祉部会

運動会・グランドゴルフ・囲碁ボール・健康体操等の推進支援。

高齢者対策・幼児児童者対策の推進支援。

広報部会

情報発信基地として、ホームページ・会報・情報冊子等の提供による各集落の行事や史跡等の紹介等、地域活性化のための地区内・地区外へのPRや情報提供。

【予算】

設立準備金

収入	金額	支出	金額
市補助金	50,000	会議費	14,000
		通信費	25,000
		事務費	11,000
合計	50,000	合計	50,000

運営資金

収入	金額	支出	金額
自治会長会補助金	50,000	会議費	10,000
		通信費	10,000
		事務費	10,000
		事務局経費	20,000
合計	50,000	合計	50,000